

今回初めての参加で東京駅の集合場所に昭島市ではなく旅行会社の旗だったのでその前を2～3回うろうろしてしまった。

友情の森の下草刈りは多くの地元の方、高齢者や学生が多数参加されており昭島市でこのような事を行うとなると人数が集まるか不安になります。

岩泉町を訪れての相違点は町中を歩いてみないと分からないと思う。旧岩泉駅を見学する事も必要ではないでしょうか。国道をバスが通過するのではなく、うれいら商店街を歩けば昭島市との違いや人の動き、人数が分かり、高齢化がすすんでいる理由がわかるのではないのでしょうか。

被災地を訪れてみたが復興はまだまだではたして以前のように住民が戻ってくるのか不安です。

被災地を見るだけでなく住民の話を聞けると良いのではないか。見学だけでは2年に1回でも良いと思う。

龍泉洞も1度訪れた人には他の所を見学という事も出来ないのでしょうか。

岩泉町の公民館等で地元の方たちとの茶飲み話や手仕事、伝統食の交流があれば話がもっと聞けるのではないのでしょうか。

今回の参加では思っていた程の交流にはほど遠いものだったように思われます。

岩泉町の道の駅滞在は30分位にして道の駅三田貝分校も寄っても良いのでしょうか。岩泉町の岩泉地区のみという感があり広い岩泉町全体を見るという事も昭島市の違いが分かります。

帰りの盛岡駅では2時間位時間を取ってもらえると各自で市内観光をすることができると思う。

